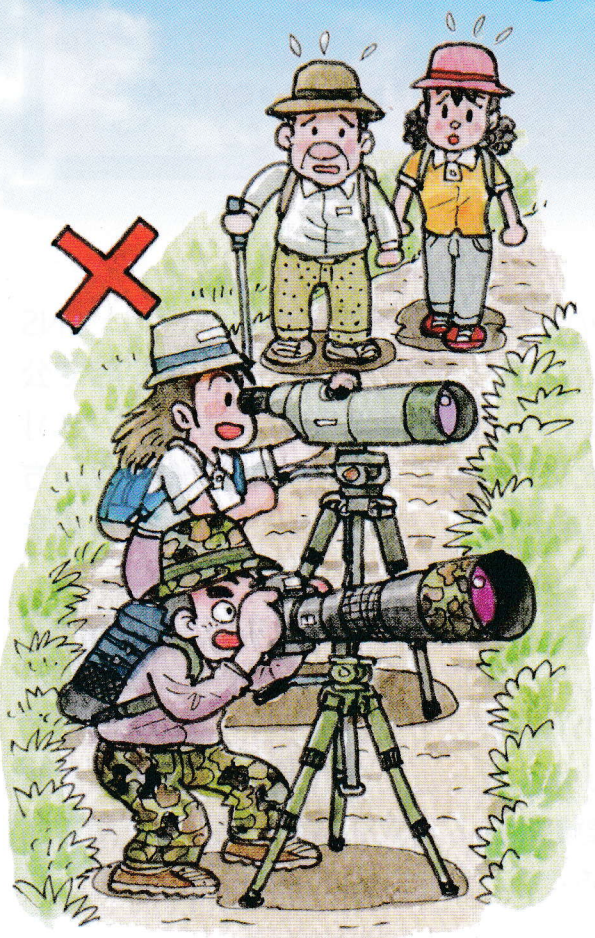


マナーを守って バードウォッチングを 楽しもう!



野鳥観察や野鳥撮影は、誰でも気軽に楽しむことができます。しかし、マナーを知らないことで、野鳥にストレスを与えてしまったり、周囲の方へ迷惑をかけてしまうこともあります。私たち人間が野鳥たちの生息地にお邪魔をして、野鳥観察・撮影をさせてもらっているという気持ちで、彼らの生活を脅かすことなく、敬意をもって接してください。マナーを守って、楽しく、野鳥の観察・撮影を行いましょう。

📷 観察・撮影のマナー

- ♥ 鳥との距離を取る
- ♥ 巣へは近づかない
- ♥ 餌付け・音声による誘因はしない
- ♥ 公共・交通のマナーを守る
- ♥ 立ち入り禁止場所や私有地への侵入はしない
- ♥ 他の観察者・撮影者へ配慮する

📱 画像・映像・情報公開のマナー

- ♥ 営巣中等の写真は SNS にのせない
- ♥ 撮影地を公開しない
- ♥ 珍しい鳥の画像・映像・情報は、鳥がいなくなってから公開する

👉 こんな点にも気をつけよう

- 足元の植物や周りの環境にも配慮しよう
- 鳥インフルエンザ等ウイルスの拡散に気をつけよう



? 鳥との距離ってどのくらい?

野鳥が飛び立つ、逃げる等の行動は、ストレスを感じた時の行動です。そのような様子が見られたら近づき過ぎている可能性があります。野鳥が体勢を変えていないかよく観察し、変化を感じた場合は、その場からそっと離れましょう。

? 巣に近づきすぎるとどうなるの?

親鳥は卵やヒナを守るために神経をとがらせています。人間の存在がストレスの原因となり、親鳥が巣や抱卵を放棄したり、ヒナが十分に育つ前に巣立たせたりする可能性があります。巣や巣立った後のヒナに遭遇した場合、すみやかにその場を離れるようにしましょう。

? 餌付けはマナー違反なの?

公園や河川敷等の公共の場、寺社境内等団体の所有地での餌付けによる誘因はやめましょう。

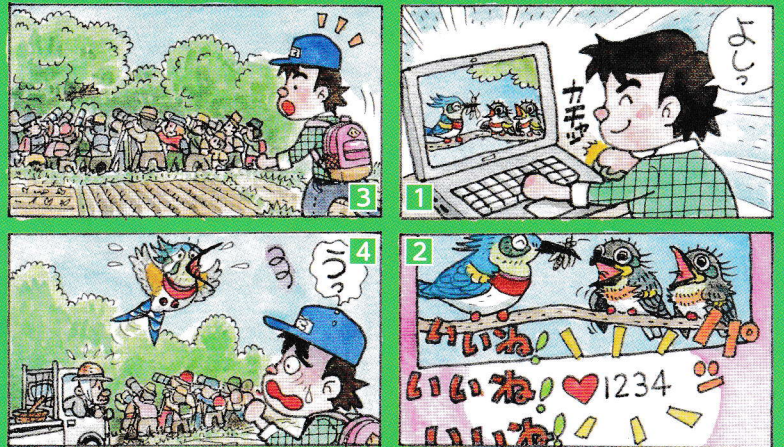
公園等の利用者には、本来の姿の自然や環境を楽しむ目的で訪れている方がいます。餌付けにより改変された自然は、不快感を生むことになります。

? なぜ鳴き声を流してはいけないの?

鳴き声を流すことによって、オスは、別のオスが縄張りに侵入してきたと勘違いし、防衛のためにさえずったり、飛び回ったりします。無駄なエネルギーを使わせるだけでなく、その場所で子育てをしなくなることもあります。

また、親鳥が縄張り防衛のために巣を離れてしまうと、卵やヒナが捕食者に狙われる等、悪影響があります。

こんなことになるなんて・・・



? なぜ SNS に情報をあげてはいけないの?

かわいいヒナの姿や心温まる親子の姿は、つい SNS にあげたくなってしまいます。しかし、SNS 等で公開してしまうと、「自分もこんな写真・映像を撮りたい」と思わせることになります。野鳥の生態を知らない方が営巣場所に詰めかけ、野鳥の繁殖行動に悪影響を及ぼす可能性があります。

珍しい鳥についても同様で、わずかな情報からでも、その場所を探し出し、たくさんの人が集まるリスクがあります。その野鳥が、その場所から去るのを待ってから「すでにいなかった」という記述とともに公開することで、野鳥にストレスを与えることや、周辺住民への迷惑も防ぐことができます。

ガイドライン全文を読む

もっと詳しく知りたい方はこちら ▶

または [日本野鳥の会 マナーガイドライン](#) [検索](#)



発行:

公益財団法人日本野鳥の会 普及室

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

Eメール: fukyu@wbsj.org